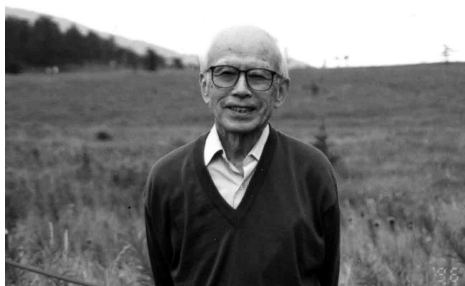


Licht Kreis 高田三郎作品による リヒトクライス第22回演奏会



高田三郎
(作曲家 1913-2000)

撮影 鈴木茂明

いま わたしがほしいのは
何も 見てない眼
何も 聞いていない耳
おしだまる口だ

『わたしの願い』第一曲「いま わたしがほしいのは」より



リヒトクライス

混声合唱団コーロ・ソフィア／女声合唱団コーロ・コスモス／しおさい／大井しらゆりコーラス／筑波大学混声合唱団／「わたしの願い」の輪

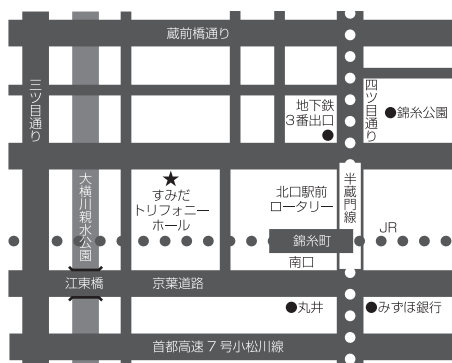
1992年、鈴木茂明の指揮する5団体が高田三郎作品の精神と芸術性に共鳴して結成。以来、2000年に帰天されるまで毎年作曲者自身の指導を受け、高田作品の個展としての演奏会を開催し、22回目を迎える。「リヒト」はドイツ語で「光」を、「クライス」は同じく「輪」を意味する。プログラムは混声・女声・男声合唱曲、典礼聖歌、室内楽曲、オルガン曲など多岐にわたり、高田作品の真髄を味わえるとの評価は高い。

まことに
高きものの名を 呼びかわしつ
ひた舞い上がる
雲雀にかわれ

『わたしの願い』第二曲「雲雀にかわれ」より

「雲雀」は私たちの心だ。高き者、超越者を目指してひたすらにのぼっていく私たちの心だ。いや逆だ。その「私たちの心」の投影こそが、喜びの声をあげながら青空に向かって舞い上がっていくあの雲雀なのではないのか。
高田三郎『来し方』より

人間の愚かさや出口の見えないこの混迷の中であって、地上に真の覚醒をもたらすための音楽を、と常に願い続けた師の志をしなやかに引き継ぎ、その揺らめく灯火を手にかざし、まもりつつ進む人々。その歌声はいま、聴く人々の心に確かに引き継がれます。一つ一つの灯火は小さくても、そこにはいつも天にささげられた大きく光の輪＞ができる。私たちのリヒトクライス！ まさにこれは＜希望＞です。涙が涸れるほど歌ってください。涙が涸れるほど聴きましょう。まさにこれは＜仕事＞です。自分は誰であったのかを、間違いなく思い出すための……。
高野喜久雄（詩人）



すみだトリフォニーホール 会場アクセス

- JR 総武線 錦糸町駅 北口より 徒歩 3 分
- 東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅 3 番出口より 徒歩 5 分

※未就学児の入場はご遠慮ください。※お花、贈り物はご遠慮ください。